

令和4年度 学校だより (令和5年2月28日発行)



かなうさ!
2月号



北海道美幌尚栄高等学校

〒072-0024 美幌市西1条南6丁目1番1号

Tel & Fax 0126-64-2277(事務室/FAX)

0126-64-2275(職員室)

URL <http://www.b-shoei.hokkaido-c.ed.jp/>

E-mail: b-shoei-z0@hokkaido-c.ed.jp

学校紹介動画

(YouTube)→



Instagram

卒業する三年次生へ 人生と勉強をどう結びつけるか 「ドラゴン桜」をヒントに

校長 升 田 重 樹

3年次生の皆さん卒業おめでとうございます。この1年間、自らの進路決定に向けて就職・進学の実験及び選考にチャレンジしてきました。受験先では、それぞれが高校生活で培ってきたものを真剣にアピールしたと思います。そして今は、将来社会人として職業人としていかに生きていくかということを少しは考えている段階ではないでしょうか。

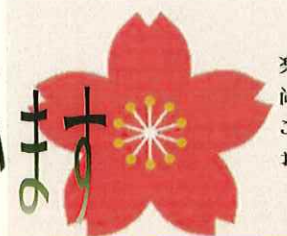
話は変わりますが、17年程前に「ドラゴン桜」という漫画がドラマ化され、2年前にはその続編ドラマが放映されました。ドラマのあらすじは元暴走族の弁護士の桜木健二（以下、桜木先生）が、経営破綻になった私立高校の運営問題を請け負うことになり、決して学習成績がいいとは言えなく、人生を諦めかけている様な生徒たちばかりを特別進学クラス「東大専科」に迎え入れます。「人生を変えろ!東大へ行け!」とばかり、東大合格を目標に、かつてそれぞれの分野で活躍していた教師らと共に教鞭をふるいながら彼らに様々な受験テクニックや勉強法を教えていき、見事合格を果たす生徒を生み出します。題材にしたモデルはあるようですが、ドラマですからおもしろさの反面、現実味に欠けるところも確かにあります。私が興味を抱いたのは、このドラマの主人公の桜木先生の粗暴ではあるが、生徒たちに投げかける人生に役立つような数々の名言です。その中から私が好きな一部を紹介しましょう。但しこれらは人によって必ずしも共感できるものではないかもしれません。大切なのは自分がどう受け止めてどう考えるかです。そして感じる事があればどう行動や実行に変えるかではないでしょうか。(以下、桜木先生の名言)

「勉強とは、まず己を知ることから始まるのだ。」「大人になるってことは、客観的にものをみられるかどうかでことだ」「蹴落とすことと競うことはまったく違う」「一時の感情で利益を失うバカにだけはなるな」「与えられるんじゃなく、てめえの力で獲得してみろ」「本当にダメなのはその失敗を生かせないやつだ」「知らないことに挑戦し、克服することが大事」「変化は突然やってくる、それが人間の複雑で面白い所なんだ」「当たり前前を当たり前前にできるようになれ」「ヘコんで閉じこもるか、前向いて次の道を探るか。要は自分の気の持ちよう」「他人に促されなくても努力する人間が、一番成長する」「努力しても伸びないやつなんて、この世に存在しない。正しい方法で努力さえすれば、人は必ず伸びる」「目の前にチャンスがあるのに、飛び込まないやつがどこにいる。」「成功している人間は、それはもともと才能があったからで、自分自身も平凡な人間だから無理だ。そういう思い込みが、人の人生をどれだけ窮屈に縛りつけているのか」

「素のままの自分から、オリジナルが生み出せるとしたら大間違いだ!創造するってことは、まず真似することから始めるんだ!」

3年次生のみなさん

ご卒業おめでとうございます



楽しいことも辛いことも色々あった3年間だったと思います。
尚栄で過ごした3年間は、皆さんにとって大切な宝物です。
これからの皆さんの人生が幸多きものとなるよう教職員一同
お祈りしております。

担任の先生からのメッセージ



3-1担任 藤野 雅省 先生

卒業おめでとうございます。この3年間コロナの影響で我慢や制約を受けることも沢山ありましたが、見学旅行や学校祭など思い出に残る行事を実施することができて良かったです。これからも様々な困難などがあるかもしれませんが、尚栄高校で経験したことを生かして社会に羽ばたいていってください。

3-2担任 藤崎 善行 先生

皆さんご卒業おめでとうございます。初めての担任だったため不甲斐ない点が多々あったと思いますが、皆さんが協力してくれたことでなんとかここまでやれました。ありがとうございました。さて、皆さんは今後社会人として責任が伴う立場になっていくわけですが、他者のことも考えて行動できる人になれば、人望のある立派な社会人になれると思うので頑張ってください。応援しています。

